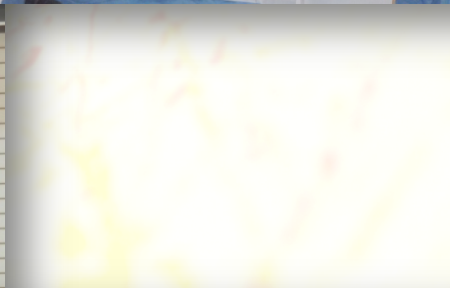


社会福祉法人 ゆうのゆう 2014 年度事業報告書

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)



1. 総括	p. 3
2. デーセンターモモの家	pp. 4-5
3. デーセンター機関車	pp. 5-6
4. デーセンター音・on	pp. 6-7
5. デーセンター夢飛行	pp. 7-9
6. ことのは	pp. 9-10
7. 被災地支援	pp. 10-12
8. リサイクルショップ／自主製品／利用者還元金	pp. 12-14
9. 絵画	pp. 14-15
10. 車椅子ダンス	p. 15
11. 後援会	pp. 15-16
12. 旅行	p. 16
13. 医療的ケア	p. 17
14. スタッフ体制	pp. 17-18
15. 緊急時対応対策委員会	p. 18
16. 決算報告	pp. 19-

1：総括

2013 年度開所の「デーセンター音・on」は、新しい利用者さんも増え、丸 2 年を経過し、徐々に、活動の幅も広がってきています。グループホーム「ことのは」も軌道に乗り始め、少しずつではありますが、入居されている皆さん個々の生活の充実も図られてきているのではないかと思います。また、医療機関との関係もでき、より安全な生活へと繋がっています。

2014 年度の利用者さんの活動を振り返ると、日中活動において制作している自主製品などを、いろんな場所に出かけて行き、販売する機会を多く持つことができました。また、私たちの活動を通じて知り会えた方達の製品と、利用者さんたちのビー玉アートの作品とのコラボレーションが実現できました。今後も地域での活動をより活発化させることにより、重度の障がいをもっていても地域で活躍できているということを、より多くの人に感じていただきたいと思います。そして、支えて下さる地域の方が増えてくる、そういう活動の展開を目指し、利用者さんの将来へ繋がっていければ、と思います。

日々、利用者さんたちは、自分の持つ精一杯の力を常に使い、瞳を輝かせ、通所されています。しかし、2014 年度は、活躍されていました 6 名の利用者さんとの悲しいお別れがありました。その中のお一人は、1 月、送迎中に体調急変から心肺停止を起こし、入院するも 5 日後亡くなられるという事態に至りました。申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後、同じことを繰り返すということのないよう、この事態をしっかりと受け止めなければなりません。

これをきっかけに、年度末に遅ればせながら緊急時対応対策委員会を立ち上げました。事故の検証をしながら、今後、同じようなことを繰り返さない為にはどうすればいいか、議論、検討を重ね、スタッフひとりひとりの意識を高め、実践していく。また、平行し、火災時や自然災害時なども考え、シミュレートし、スムーズな対応ができるよう、訓練を積んでいく。利用者さんの安全を考え、地震など自然災害時を含め、施設内でのもしもの事故や利用者の方の体調の急変時などの対応がしっかりととれるようになっていかなければならないことを痛感させられました。

活動中に起こしてしまった事への反省を今後の安心・安全へと確実に繋げるために、利用者さん、ご家族との信頼関係の醸成に改めて力を尽くす 2015 年度にしていきたいと思います。

2015 年 6 月 12 日

社会福祉法人 ゆうのゆう 代表理事 小林 美穂

2：デーセンターモモの家

□活動状況：

2014年度は25名定員での運営となりました。従たる事業所「デーセンター音・on」のオープンによって利用者とスタッフを分散して2年目。前年度に引き続き、地域イベントへの参加（自主製品等の出張販売）を積極的に推進しました。特に本年度は「のだふじ祭り」「福島区アクションプラン」「福島区健康展」「キララ九条商店街フリマ」「鶴見緑地フリマ」などの初参加イベントが多く、地域交流の裾野を着々と広がっています。



□年間行事：

【2014年】	
4月	入所式・のだふじ祭り出店・新人歓迎会@日中活動
5月	車椅子ダンス発表会・Earth Day ブース出店・大分旅行
6月	車椅子ダンス茶話会・サッカーW杯を楽しむ会・福井旅行
7月	岩手県からの重心当事者／家族招聘・愛媛旅行・海の家企画・大阪歯科大実習受け入れ
8月	プール外出・高校野球企画・Art Way Osaka 出展・浴衣会・福島区アクションプラン出店・京都旅行・特別支援学校生「夏休み一日体験」受け入れ
9月	福島区民祭り出店・合同FBMデー
10月	福島区「健康展」出展・東京旅行①
11月	東京旅行②・ポジティブ生活文化交流祭出店・キララ九条商店街フリマ出店・鶴見緑地フリマ出店
12月	クリスマス会・忘年会@日中活動
【2015年】	
1月	初詣外出・成人のお祝い
2月	一関市から障害福祉NPO代表来阪・バレンタインデーイベント・車椅子

	子バスケ観戦・あいあい祭り出店
3 月	ホワイトデーイベント・選抜高校野球観戦

※グループ外出・誕生日会・外国人スタッフ歓送迎会@日中活動・Torute 店頭販売・車椅子ダンス練習会・てんまーと出店・特別支援学校生実習受け入れ・FBM デー・モモシネマ・イエローレシートキャンペーン・絵本読み聞かせ ⇒ 随時（年複数回・月単位行事のため）

3：デーセンター機関車

□活動状況：

2014 年度の定員は前年度と変わらず 13 名のまま推移しました。また新拠点整備についても、引き続き最優先課題として位置付け、進捗を図っています。自主製品制作の分野では、本年度も意欲的な取り組みを行いました。「ビー玉アート」を活用した便箋やメモ帳など、「原画」にこだわった商品開発・販売が好調でした。



他方、2015 年 1 月、送迎中の体調急変による心肺停止状態がもとで利用者 1 名が亡くなってしまう事故が起きました。当該利用者・ご家族への謝罪はもちろんのこと、家族会全会員を対象とした事故説明会の実施やアンケートによる意見聴取、中堅以上のスタッフにより構成する「緊急時対応対策委員会」の設置と話し合いの定期実施といった対応をとりながら、事故の再発防止に向けて全力で取り組んでいます。



□年間行事：

【2014 年】 4 月	入所式・新人歓迎会@日中活動
5 月	車椅子ダンス・大分旅行・Earth Day ブース出店
6 月	車椅子ダンス茶話会・福井旅行
7 月	岩手県からの重心当事者／家族招聘・愛媛旅行・全員外出@舞洲・大

	阪歯科大実習受け入れ
8 月	プール外出・高校野球企画・Art Way Osaka 出展・京都旅行・特別支援学校生「夏休み一日体験」受け入れ
9 月	都島ふれあいフェスタ出店・合同 FBM デー
10 月	東京旅行①
11 月	もちもち感謝祭参加・東京旅行②・ポジティブ生活文化交流祭出店
12 月	クリスマス会・忘年会@日中活動
【2015 年】	
1 月	初詣外出・成人のお祝い
2 月	一関市から障害福祉 NPO 代表来阪・バレンタインデーイベント・車椅子バスケ観戦
3 月	ホワイトデーイベント・選抜高校野球観戦

※グループ外出・誕生日会・外国人スタッフ歓送迎会@日中活動・Torute 店頭販売・車椅子ダンス練習会・てんまーと出店・特別支援学校生実習受け入れ・キカンシャシネマ ⇒ 随時（年複数回・月単位行事のため）

4：デーセンター音・on

□活動状況：



法人の新拠点としてオープン 2 年目を迎えました。定員数は前年度 13 名→本年度 15 名へと増員しています。オープン初年度（前年度）からの手作りキャンドル制作に加えて、2014 年度は染物（手拭いなど）や紙漉きにも挑戦し、独自の自主製品開発に精力的に取り組みました。「ビー玉アート」の分野では、鞆や小物等を手掛ける縫製作家の方とのコラボレーション制作が実現。岩手県からの重症心身障害

当事者・ご家族が来阪～訪問された際の共同制作活動や、展示会（「にじいろ落書き展」）への作品出展という形で実を結びました。

一方、「地域との交流・連帯」という面では、「弁天町 ORC」主催のフリーマーケットへの定期出店が定着しつつあります。また近隣の高校（府立市岡高校）との交流模索も現在進行中です。

□年間行事：

【2014 年】	
4 月	入所式・新人歓迎会@日中活動
5 月	車椅子ダンス発表会・大分旅行・Earth Day ブース出店
6 月	車椅子ダンス茶話会・福井旅行
7 月	岩手県からの重心当事者／家族招聘・愛媛旅行・「にじいろ落書き展」出展・大阪歯科大実習受け入れ
8 月	プール外出・高校野球企画・Art Way Osaka 出展・京都旅行・特別支援学校生「夏休み一日体験」受け入れ
9 月	合同 FBM デー
10 月	東京旅行①
11 月	東京旅行②・ポジティブ生活文化交流祭出店
12 月	弁天町 ORC フリマ出店・クリスマス会・忘年会@日中活動
【2015 年】	
1 月	初詣外出・成人のお祝い・書き初め大会
2 月	一関市から障害福祉 NPO 代表来阪・バレンタインデーイベント・車椅子バス観戦
3 月	選抜高校野球観戦・ホワイトデーイベント

※グループ外出・誕生日会・外国人スタッフ歓送迎会@日中活動・Torute 店頭販売・車椅子ダンス練習会・てんまーと出店・特別支援学校生実習受け入れ・on シネマ ⇒ 随時（年複数回・月単位行事のため）

5：デーセンター夢飛行

□活動状況：

2014年度は32名定員による運営となりました。利用者の増加に伴うスタッフの腰痛予防・負担軽減を図るため、前年度の自走式リフトに続いて、



天井走行式リフトの導入に踏み切りました。特定のスタッフを「リフトリーダー」として位置付け、積極的なリフト使用の浸透に取り組んでいます。

前年度より毎月1回の定期出店を始めた西成区役所ロビーでの「福祉の店」は本年度も継続。自主製品のほか、Torute 加盟の他事業所の委託商品や、被災地支援で関係構築した岩手県の就労支援事業所が製造するお菓子等を販売し、売上を伸ばしました。リサイクルショップの軒先を使った野菜の共同販売も引き続き週1回のペースで取り組んでいます。「ビー玉アート」を用いた結婚式の招待状・席次表・席札等の受注制作や、絵画リースも本格化しました。結果、「利用者還元金」となる夢飛行の諸活動の売上は、本年度も記録を更新し、100万円近くの売上を計上することができました。

その他、定期的に地域美容師さんに出張営業していただく「あおぞらカット」を新しくスタートさせました。利用者・家族からの好評を得つつ、地域交流の促進にも力を入れています。

□年間行事：

【2014年】 4月	入所式
5月	車椅子ダンス発表会・大分旅行・Earth Day ブース出店
6月	車椅子ダンス茶話会・よさこい踊り観覧・福井旅行・新人歓迎会@日中活動
7月	岩手県からの重心当事者／家族招聘・愛媛旅行・浴衣祭り・大阪歯科大実習受け入れ
8月	石巻市から重心当事者／家族訪問・プール外出・高校野球企画・Art Way Osaka 出展・京都旅行・特別支援学校生「夏休み一日体験」受



	け入れ
9 月	合同 FBM デー
10 月	THE BODY SHOP デー・東京旅行①・出張美容室
11 月	関西福祉科学大学学園祭出店・東京旅行②・ポジティブ生活文化交流祭出店・あおぞらカット
12 月	クリスマス会・忘年会@日中活動
【2015 年】 1 月	初詣外出・成人のお祝い・岩手県宮古市「ココロつなが会」との Skype 交流
2 月	一関市から障害福祉 NPO 代表来阪・バレンタインデーイベント・車椅子バス観戦・
3 月	選抜高校野球観戦・ホワイトデーイベント・障施協実践報告会事例発表・THE BODY SHOP デー・

※グループ外出・誕生日会・外国人スタッフ歓送迎会@日中活動・Torute 店頭販売・車椅子ダンス練習会・てんまーと出店・特別支援学校生実習受け入れ・FBM デー・西成区役所「福祉の店」出店・国際文化教室 ⇒ 随時（年複数回・月単位行事のため）

6：ことのは

□活動状況：



2014 年度より、ケアホームの「グループホーム一元化」が施行されました。制度の改定に伴って「ことのは」でもスタッフ体制等を再編し、いよいよ正式にグループホームとしての請求業務を開始しました。外部ヘルパーの居宅支援と生活支援員（夜間支援員）・世話人による支援を併用した配置体制により、入居者 7 名の生活リズムとしては、「月～金グループホーム、土・日・祝は実家においてそれぞれ起居する」という形態を継続できています。

開所以来、入居者のケアや日常生活全般において、実家の家族ではなく、私たちスタッフの側が何らかの判断を下す場面が年々増えているように感じます。中にはご両親を亡くされた入居者もあり、その方のケースでは成年後見人（弁護士）との良好な協力関係構築が欠か



せません。本年度はそうした支援の在り方についての実践事例報告を行う機会もありました（大阪市障害児・者施設連絡協議会）。入居者に限らず、利用者の高齢化・家族の高齢化を見据えた上で、成年後見制度における法人後見の活用も視野に入れながら、支援基盤の強化に努めていきたいと思っています。

7：被災地支援活動

2014 年度の被災地支援活動は、前年度に定めた「現地の重症心身障害者への支援」という方針に基づいて展開しました。

(1) 赤い羽根共同募金助成事業



「被災地・岩手県の重症心身障害児・者・家族のための活動拠点整備に向けたネットワーク構築事業」という名称で、共同募金会による資金助成を受けることができました。具体的には、これまでの被災地派遣活動で関係を築いた岩手県の重症心身障害児・者・家族の「大阪招聘」を軸に、ケアの引き継ぎを兼ねたスタッフの現地派遣や大阪での受け入れプログラムを企画・実施するというものです。



結果としては、事前のスタッフ現地派遣を経て、重症心身障害児 2 名とその家族（それぞれ一関市、大船渡市在住）、合計 8 名の大阪招聘が実現しました。当法人の生活介護施設やグループホームのほか、重症心身障害児・者入所施設の見学、大阪の当事者母子との懇談、スタッフがボランティアヘルパーとして支援に入っの観光等、予定していた 3

日間(7月4日～6日)のプログラムにご参加いただき、交流を深めることができました。

(2)その他、大阪での活動

前年度に引き続き、宮城県石巻市からの重心当事者大阪訪問の受け入れ

(8月)のほか、岩手県宮古市の就労支援事業所で製造されたお菓子の販売、同じく宮古市在住の重心当事者・家族で構成される「ココロつながり会」のメンバーとスカイプを利用した遠隔地中継交流(2015年1月)等に取り組みました。また、当法人の利用



者・家族・スタッフ・後援会員等より募った義援金(約180万円)を活用した「ふれ～るプロジェクト」の実施主体となっていたいただいた現地NPO法人(響生＝ひびき＝岩手県一関市)代表家族が大阪を初訪問(2015年2月)。その際にも当法人施設の見学やスタッフとの交流等を企画・実施。今後の協働についても改めて意見交換を行う機会に恵まれました。

(3)岩手県沿岸北部での活動～「ココロつながり会」等との関係構築



本年度も折に触れてスタッフの現地派遣を行いました。本年度が最後となった当事者主体のイベント

「みちのく TRY」(9月)、岩手県社協や宮古市中心部の障害者支援団体等が主催する「みやこはあとふるフェスタ」(10月)、「ココロつながり会」ミニ集会・新年会(10月・12月・2015年1月)等。そうした「当事者・家族」との継続的な関わりのほか、本

年度は現地の障害福祉サービス事業所との関係構築・情報共有等にも力を注ぎました。既存の現地事業所に協力を呼びかけ、当事者の地域生活支援に結び付けていくことも今後の大きな課題の一つとなります。

(4)岩手県沿岸南部・内陸部での活動

前年度に一応の完結を見た「ふれ～るプロジェクト」(被災沿岸部在住の重症心身障害児・者とそのご家族間での交流促進を目的とした体験型プロジェクト)以来、本年度は前述の「大阪招聘」に向けた個別の派遣(招聘家族との関係構築とケアの引き継ぎ)活動が主となりました。それ以外には、当法人利用者のお母



様1名とスタッフ1名が一関市での講話会で講師を務めるため現地へ。スタッフではない「家族」の現地訪問は初めての試みでしたが、家族という同じ立場・視点から語られる話は現地のご家族にとっても興味深いものだったようで好評をいただきました。

8: リサイクルショップ・自主製品・利用者還元金

□リサイクルショップ・自主製品



前年度に初出店した、Earth Day(浜寺公園)、「てんまーと」(大阪天満宮)、西成区役所ロビー「福祉の店」等の販路を維持しつつ、新しい販売機会の開拓にも力を入れました。デーセンターモモの家では「のだふじ祭り」「福島区アクションプラン」「福島区健康展」「キララ九条商店街フリマ」「鶴見緑地フリマ」、デーセンター音・onでは「弁天町 ORC フリマ」、デーセンター夢飛行では関西福祉科学大学の学園祭等が2014年度では初めての出店・参加となりました。

また、前年度開所したばかりで、地域との関係作りを一から進めているデーセンター音・onについては、リサイクルショップの主力商品である古着や雑貨の寄付がまだ思ったようには集まりません。そこで、寄付物品が豊富なデーセンター夢飛行からリサイクル品を調

達して販売するなど、部署間での連携が少しずつ活発になっています。商品、販路、販促方法についての連携・情報共有によって、法人全体としてのモチベーションアップ、引いては売上増という結果に結び付けていくことができるよう努めていきます。



□利用者還元金：



単価が高い「ビー玉アート」受注制作の本格化と、リサイクル品・自主製品販路の拡大が後押しとなり、2014年度売上金は前年度よりもほぼ4割増の約150万円を計上することが出来ました（前年度＝約107万円）。また、毎年受け入れている大阪歯科大学生の介護実習については、「利用者さん自身もまたスタッフと同様に実習生の指導を担う」との考え方に基づき、実習費収入を利用者還元金に充てています。これを前述の売上金に加えると、「利用者還元金」としての総計は155万円余りとなりました。

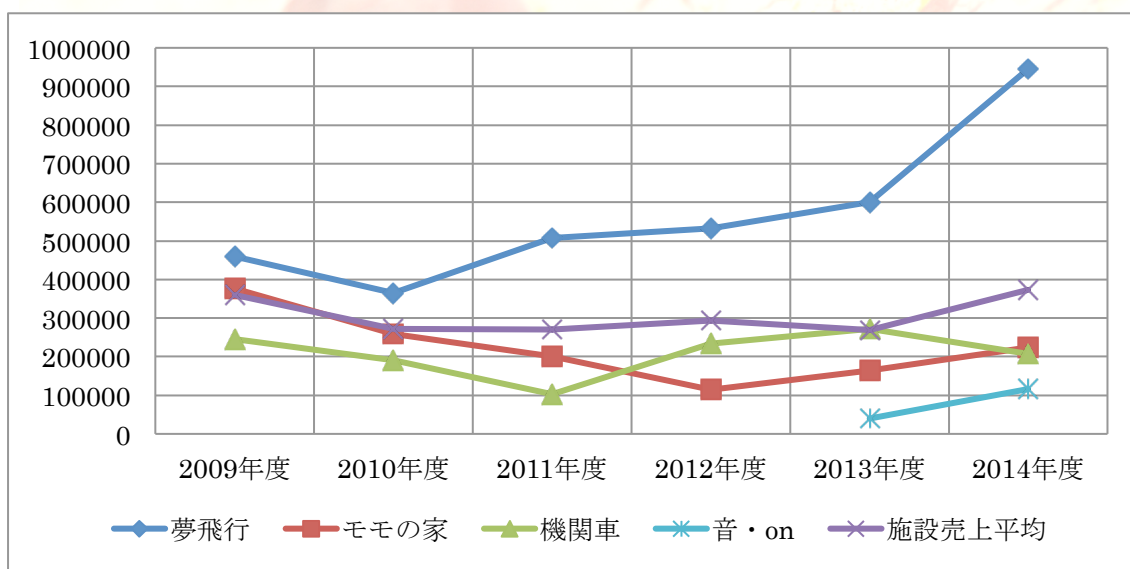
利用者数は依然増加傾向にあります（2009年度からの過去5年間で50名以上の増）、そうした状況下でも、利用者一人当たりが受け取る金額は、1万円を割り込んでしまった前年度から盛り返し、1万2000円台に回復しました。今後も売上増を目指していくことに変わりはありませんが、「売上増＝地域・社会からの共感・理解の拡大」という等式が成り立つ精度をいかにして高めていくのか、「利用者の地域生活支援としての経済活動」をどのように法人内で位置付けていくのか、活動をめぐる本質的な課題と向き合い続ける姿勢が求められます。



【2014年度・利用者還元金の内訳】（）内は前年度の結果

	モモの家	機関車	音・on	夢飛行	施設合計	利用者数
ショップ・自主製 品・絵画売上	224001 円 (164776 円)	207837 円 (271926 円)	115466 円 (39308 円)	945895 円 (600413 円)	1493199 円 (1076423 円)	126 名 (116 名)
歯科大実習	15000 円	15000 円	15000 円	15000 円	60000 円	
合計	239001 円 (179776 円)	222837 円 (279426 円)	130466 円 (39308 円)	960895 円 (615413 円)	1553199 円 (1113923 円)	

※1名当たりの還元金額＝12326 円／人（前年度＝9602 円／人）



9：絵画

「商品」としての絵画制作は、結婚式の招待状・席次表・席札等の「ウェディング受注制作」が5件、絵画（キャンヴァス地）そのものの販売が1件、同じく絵画自体のリースが2件。利用者還元金となる収益は約20万円でした。

一方、「アートとしての発信」という側面が





ら振り返ると、現代アーティスト作家さんとのコラボレーション制作、2014年度初開催となった西成区のアートイベント「Art Way Osaka」での企画展示、自動販売機の社名表示スペースへの作品掲示等、様々な新しい取り組みに挑んだ一年となりました。

「ビー玉アート」は、商品、芸術作品、デザイン…といった「表現」としての枠組みを異にしながらも、一貫して「私たちの取り組みに対する共感・理解の輪をより一層広げていくツール」という役割を担っています。今後も精力的に活動を展開していく予定です。

10：車椅子ダンス

毎年各施設の希望者の中から選抜されたメンバーが、月1回の合同練習を一年間続け、発表会でその成果を披露します。2014年度に発表会の日を迎えた第8期生のテーマは「和」。特に演歌「天城越え」をモチーフにした演目が観客の目を惹きました。一方、2014年度に編成された新メンバーたちは第9期生として、2015年度の発表会を目指して一年間の練習に励みました。施設（部署）の垣根を越えて利用者とスタッフが一つのことに取り組む貴重な機会として定着しましたが、活動そのものに「地域や社会へのアウトプット」に繋がるような方向性を持たせ、その展開像を描いていくことが今後の課題と言えそうです。



11：後援会



延べ会員数は約1200名ですが、逝去等による退会もあり、現員は900名強。近年は特に新規会員数が伸び悩んでいます。

現在、デーセンター機関車の移転、デーセンター夢飛

行の従たる事業所として想定している新拠点の設置、デーセンター音・on の 2 階部分改修といったハードウェア面での整備が急を要する状況です。福祉行政・法制度の行方が混沌とする中、多くの方々に私たちの活動を支えていただくことの重要性は日増しに高まる一方です。そして、使途自由な運営費の確保もまた欠かせません。



しかし他方、友人・知人等呼びかけ、後援会員を勧誘・獲得できる関係者やスタッフは全体のごく一部です。「後援会員の獲得」＝「私たちの活動に対する理解・共感を財政面の充実に結び付けること」——法人が社会に果たす役割や重症心身障害者と呼ばれる利用者のことを、「自分の言葉」で発信していく姿勢と実践が、スタッフ一人一人に求められています。

12：旅行

2014 年度も東京希望者が多数であったため、東京旅行を 2 回に分ける結果となり、都合 6 回の旅行を催行しました。「ミステリーツアー」や「フォトコンテスト」等、観光以外の面で趣向を凝らした企画も試み、担当スタッフを中心として「思い出づくり」の質向上に取り組みました。一方で、年々旅行参加利用者が増加傾向にある中、安全面・予算面での対処や工夫がより一層求められます。



行先	参加利用者数	参加家族数
大分（5 月）	15 名	7 名
福井（6 月）	19 名	4 名
愛媛（7 月）	15 名	9 名
京都（8 月）	15 名	1 名
東京①（10 月）	16 名	3 名
東京②（11 月）	11 名	4 名
合計	91 名	28 名



13：医療的ケア



医療的ケアを必要とする新規利用者は年々増加傾向にあり、既に通所している利用者についても、加齢や障害の進行等により新たに医療的ケアが必要となるケースが増えています。2012年度からは「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正が施行され、痰の吸引や経管栄養注入といった行為を一定の要件を満たした介護職員が実施できるようになりました。法人としても、スタッフに必要な研修（喀痰吸引等基本研修／実地研修）を受けさせ、こうした情勢に対処すべく順次態勢を整えている最中です。

一方、研修を終えたスタッフについては、自分たちのケアが「治療」を目的とした「医療行為」ではなく、あくまでも「生活支援の一手段」としての「医療的ケア」なのだという自覚を失うことなく日々の業務に当たることが不可欠です。医療的ケアの実施環境整備と同時に、スタッフの一人一人が、重症心身障害者支援の目的と意味を自問自答し続けることができる「職場風土」の維持・醸成が今後も課題となります。

14：スタッフ体制

2014年度は、従来の生活介護施設に加えて、請求業務をスタートさせたグループホーム（このは）の人員配置基準についても同時に満たすことができるよう体制を整えてきました。生活介護施設については、依然、男性利用者が増



加傾向にあるとともに、入浴・排泄については「同性介助」を前提としているため、男性スタッフの確保が急務となっています。アルバイト採用やインターンシップの活用も含め、採用活動全般の工夫・改善を図らなければなりません。

一方、現職スタッフの状況として、結婚、出産（～育児休暇～復職）といったライフステージを迎える層が徐々に増えています。加えて腰痛やメンタル面での体調不良を訴える者も散見される中で、腰痛予防のための設備導入と利用勧奨、その他健康管理に資する対応、時短や在宅勤務等の勤務形態の柔軟化を可能にする仕組みづくり、キャリアパスの体系化・可視化等、「仕事を長く続けることができる」環境整備を推進する必要性に迫られています。



15：緊急時対応対策委員会

「デーセンター機関車」の項で言及した事故（2015年1月）を受けて、法人役員と各部署管理職（施設長・副施設長）及び中堅スタッフ（概ね勤続5年以上）で構成する「緊急時対応対策委員会」を設置しました。月1回の定期開催とし、同様の事故再発防止に向けて、日常生活における緊急時（利用者の体調急変、ケア中の事故、交通事故、火災等）及び自然災害時（地震、津波等）の対応と平時からの対策について話し合います。マニュアル作成、必要物品の購入と管理、全スタッフ対象の研修・訓練の計画的実施、医療的ケアの記録方式整備等を可能な限り具体化し、スタッフの意識喚起と対応スキルの育成、組織としての対応力強化を図ります。

16：決算報告

事業活動収支計算書

自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日

勘定科目			本年度決算
事業活動収支の部	収入	運営費補助金収入	0
		自立支援費等収入	359,348,957
		利用料収入	4,899,500
		寄付金収入	279,294
		雑収入	3,349,611
		受取利息収入	10,541
		国庫補助金等特別積立金取崩額	1,753,502
	事業活動収入計		369,641,405
	支出	人件費支出	271,299,800
		事務費支出	4,364,958
事業費支出		97,321,486	
事業活動支出計		372,986,244	
事業活動収支差額		-3,344,839	
事業活動外収支の部	収入	経理区分間繰入金収入	12,409,207
		事業活動外収入計	
	支出	経理区分間繰入金支出	12,409,207
		支払利息支出	231,904
		事業活動外支出計	
	事業活動外収支差額		-231,904
	経常収支差額		-3,576,743
特別収支差額の部	収入	施設整備等補助金収入	0
		施設整備等寄付金収入	5,000,000
		特別収入計	5,000,000

	支 出	国庫補助等特別積立金積立額	0
		特別支出計	0
	特別収支差額		5,000,000
当期活動収支差額			1,423,257
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額		138,277,189
	当期末繰越活動収支差額		139,700,446
	基本金取崩額		
	基本金組入額		
	その他の積立金取崩額		
	その他の積立金積立額		
次期繰越活動収支差額			139,700,446

資 金 収 支 計 算 書

自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日

勘 定 科 目			決 算
経常活動による収支	収 入	運営費補助金収入	0
		自立支援費等収入	359,348,957
		利用料収入	4,899,500
		寄付金収入	279,294
		雑収入	3,349,611
		受取利息収入	8,022
		経理区分間繰入金収入	12,409,207
	経常収入計		380,294,591
	支 出	人件費支出	271,299,800
		事務費支出	4,364,958
		事業費支出	85,953,136
		支払利息支出	231,904
		経理区分間繰入金支出	12,409,207

		経常支出計	374,259,005
	経常活動資金収支差額		6,035,586
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0
		施設整備等寄付金収入	5,000,000
		保証金返還収入	40,000
		施設整備等収入計	5,040,000
	支出	固定資産取得支出	2,870,400
		保証金支出	136,400
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,723,096
		施設整備等支出計	5,729,896
施設整備等資金収支差額		-689,896	
財務活動による収支	収入	長期借入金による収入	0
		旅行預り金収入	6,439,000
		財務収入計	6,439,000
	支出	長期借入金返済による支出	0
		旅行預り金支出	6,439,000
		財務支出計	6,439,000
財務活動資金収支差額		0	
予備費			
当期資金収支差額合計			5,345,690
前期末支払資金残高			87,089,812
当期末支払資金残高			92,435,502

貸借対照表

平成 27 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	102,866,581	流動負債	10,431,079
現金預金	40,508,259	預り金	6,329,615
未収入金	61,912,278	未払金	4,101,464
仮払金	13,736	仮受金	0
立替金	432,308		
固定資産	104,195,218	固定負債	33,707,467
基本財産	10,090,330	長期借入金	21,800,000
基本財産定期預金	10,090,330	リース債務	11,907,467
その他の固定資産	94,104,888	負債の部合計	44,138,546
建物附属設備	56,225,437		
構築物	466,479	基本金	10,000,000
車輛運搬具	1,603,063	基本金	10,000,000
器具備品	3,757,283	国庫補助金等特別積立金	13,222,807
有形リース資産	11,782,826		
保証金	16,494,800		
長期前払費用	3,775,000		
		次期繰越活動収支差額	139,700,446
		次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	139,700,446 1,423,257
		純資産の部合計	162,923,253
資産の部合計	207,061,799	負債及び純資産の部合計	207,061,799

脚注

減価償却累計額 51,782,446

社会福祉法人現況報告書

平成 27 年 4月 1日現在

I 基本情報

所轄庁	市												
法人名	社会福祉法人ゆうのゆう		主たる事務所の所在地	〒 553 - 0006		大阪市福島区吉野4-27-10		電話番号	06 - 6465 - 9133		FAX番号	06 - 6465 - 3301	
ホームページアドレス	http://www.yourw ng.org		メールアドレス	info@yourw ng.org			設立認可年月日	平成13年10月24日			設立登記年月日	平成13年10月31日	
代表者	氏名	年齢	住所			職業			就任年月日				
	公表/非公表		公表/非公表										
	小林美穂	非公表 51	非公表	豊中市服部豊町2-20-7			福祉施設職員			平成17年3月24日			

II 事業

社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	公表/非公表	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態	
							各分野の事業が同一施設(敷地)で実施	全ての事業が同一施設(敷地)で実施
児童福祉	第一種							
	第二種							
	第三種							
老人福祉	第一種							
	第二種							
	第三種							
障害者福祉	第一種							
	第二種	障害福祉サービス事業	公表	大阪市福島区吉野4-27-10	平成13年11月1日	53		
	第三種	障害福祉サービス事業	公表	大阪市西成区岸里東1-5-25	平成13年11月1日	32		
その他	第一種	障害福祉サービス事業	公表	大阪府大正区泉尾1-20-26	平成24年11月1日	7		
	第二種							
	第三種							

公益事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
公益事業					

- 1 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業
- 2 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業
- 3 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業
- 4 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業
- 5 入所施設からの退院・退所を支援する事業
- 6 子育て支援に関する事業
- 7 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業
- 8 ボランティアの育成に関する事業
- 9 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等)
- 10 社会福祉に関する調査研究等
- 11 事業規模要件を満たさないために社会福祉事業に含まれない事業
- 12 介護保険法の居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型介護予防サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業、介護老人保健施設、地域支援事業を市町村から受託する事業
- 13 有料老人ホーム
- 14 社会福祉協議会等において、社会福祉協議会活動等に参加する者の福利厚生を図ることを目的として、宿泊所、保養所、食堂等を経営する事業
- 15 公益的事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業
- 16 その他 ()

収益事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
収益事業					

- 1 法人の所有する不動産を活用して行う貸ビル
- 2 駐車場の経営
- 3 公共的、公共的施設内の売店の経営
- 4 その他 ()

その他の事業	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
その他の事業					

- 1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免
- 2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施
- 3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施
- 4 災害時における各種支援活動の実施
- 5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施
- 6 他法人との連携による人材育成事業
- 7 その他 ()

Ⅲ 組織

理事	定員		現員		役職	氏名	職業	任期	親族等特殊関係者の有無			資格				施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事報酬 (職員と兼務の場合は支給方法)				理事会への出席回数
	6	6	理事報酬・職員給与ともに支給	理事報酬のみ支給													職員給与のみ支給	支給なし			
	親族	他の社会福祉法人の役員	その他	社会福祉事業の学識経験者					地域の福祉関係者	施設長	その他										
理事					小林美穂	法人職員	20150324 ～ 20170323							○					○	○	
理事					齊藤真弓	医師	20150324 ～ 20170323						○							○	
理事					菅野真弓	NPO法人職員	20150324 ～ 20170323									○					○
理事					岩永浩一	法人職員	20150324 ～ 20170323													○	○
理事					広本三枝子	家族会代表	20150324 ～ 20170323									○					○
理事					吉田肇	弁護士	20150324 ～ 20170323					○									○

監事	定員	現員																
	2	2																
	氏名	職業	任期	資格							施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	監事報酬		理事会への出席回数				
				財務諸表等を監査し得る者				社会福祉事業の学識経験者	地域の福祉関係者	その他		支給あり	支給なし					
公認会計士、税理士	弁護士	会社等の監査役、経理責任者等	その他															
	永田徹	弁護士	20150324	～	20170323		○										○	
	高松邦明	会計士	20150324	～	20170323	○											○	

	定員	現員																	
	13	13																	
	氏名	職業	任期	親族等特殊関係者の有無			理事の親族	資格						施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事との兼務	職員との兼務	評議員会への出席回数		
				親族	他の社会福祉法人の役員	その他		社会福祉事業の学識経験者	地域の福祉関係者	地域の代表者	施設長	利用者の家族の代表	その他						
評議員	小林美穂	法人代表理事	20150324	～	20170323								○			○	○	○	
	齊藤真弓	医師	20150324	～	20170323												○		
	菅野眞弓	NPO代表理事	20150324	～	20170323					○							○		
	岩永浩一	法人職員	20150324	～	20170323											○	○	○	
	広本三枝子	家族会会長	20150324	～	20170323									○			○		
	吉田肇	弁護士	20150324	～	20170323												○		
	丹羽幸子	社会保険労務士	20150324	～	20170323						○								
	小比賀昌子	婦人会副会長	20150324	～	20170323														
	酒井佐和子	医療生協理事	20150324	～	20170323							○							
	大槻瑞文	NPO理事	20150324	～	20170323							○	○						
	岡田美千代	家族会副会長	20150324	～	20170323										○				
	山本由美	家族会副会長	20150324	～	20170323										○				
	小川尚美	家族会副会長	20150324	～	20170323										○				
				～															

施設長	施設名	氏名	就任年月日	法令等に定める資格の有無
	デーセンター夢飛行	畑 誠	平成16年4月1日	有
	デーセンターモモの家	小林美穂	平成15年3月1日	有
	ことのは	坂山克也	平成24年11月1日	有

職員	常勤専従		常勤兼務		非常勤	
			換算数		換算数	
	法人本部					
	施設	64		23	8	

理事会	開催年月日		出席者数		監事出席の有無	決議事項				
	20140707	6	1	有		施設へのリフト設置工事、平成25年度決算、評議員の選任				
	20150323	6	2	有		理事・評議員の選任、平成27年度予算、代表理事の職務代理者、事故について				
	20150527	6	2	有		平成26年度決算				

評議員会	開催年月日		出席者数		監事出席の有無	決議事項				
	20140707	13	有	有		施設へのリフト設置工事、平成25年度決算、評議員の選任				
	20150323	8	有	有		理事・評議員の選任、平成27年度予算、事故について				
	20150527	8	有	有		平成26年度決算				

監事監査	監査年月日		監査者		監査報告の有無	指摘事項				改善事項	
	20150527		永田徹			適正					
	20150527		高松邦明			適正					

IV 資産管理

									平成	年3月31日現在
不動産 の所有 状況				担保提供の状況						
	所在地	面積	評価額(千円)	提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の承認の有無		
基本財産	土地									
	建物									
運用財産	土地									
	建物									
公益事業用財産	土地									
	建物									
収益事業用財産	土地									
	建物									

V その他

V その他										平成	27	年4月1日現在	
情報公開	定款	役員名簿	評議員名簿	財産目録	事業計画書	事業報告書	役員報酬規程	第三者評価結果	苦情処理結果				
	インターネット 広報誌 新聞	公表していない	公表していない	公表していない	公表していない	公表していない	法人HP	公表していない	公表していない	公表していない	公表していない	公表していない	
	前々年度の財務諸表				前年度の財務諸表								
	貸借対照表		資金収支計算書	事業活動計算書 (事業活動収支計算書)	貸借対照表		資金収支計算書		事業活動計算書(事業活動収支計算書)				
				公表方法(予定)	公表時期(予定)	公表方法(予定)	公表時期(予定)	公表方法(予定)	公表時期(予定)	公表方法(予定)	公表時期(予定)		
	インターネット 広報誌 新聞	法人HP	法人HP	法人HP	法人HP	10～12月	法人HP	10～12月	法人HP	10～12月	法人HP	10～12月	
外部監査	平成	年度		平成	年度		平成	年度		平成	年度		
		費用(千円)			費用(千円)			費用(千円)			費用(千円)		
	公認会計士												
	監査法人												
	税理士												
	その他												
第三者評価	受審施設・事業所名			平成	年度		平成	年度		平成	年度		
					費用(千円)			費用(千円)			費用(千円)		
準拠している会計基準	社会福祉法人 新会計基準	社会福祉法人 旧会計基準	経理規程準則	指定介護老人 福祉施設等会 計処理等取扱 指導指針	訪問看護会計・ 経理準則	介護老人保健 施設会計・経理 準則	授産会計基準	就労会計基準	病院会計準則	企業会計基準	その他		
		○											
											平成	27	年3月31日現在

平成 27 年度の法人の経営状況（総括表）

1. 法人単位の資金収支の状況

項目	金額（千円）
(1) 事業活動資金収支差額	
① 事業活動収入	
・介護報酬等の公費 ※)	359,348,957
・利用者負担金 ※)	
・その他収入	
② 事業活動支出	
・人件費支出	271,299,800
・事業費支出	85,953,136
・利用者負担軽減額	
・その他支出	
(2) 施設整備等資金収支差額	
① 施設整備等収入	
・施設整備補助金等の公費	5,000,000
・その他収入	
② 施設整備等支出	
(3) その他の活動資金収支差額	
① その他の活動収入	6,439,000
② その他の活動支出	
当期末資金収支差額	5,345,690
前期末支払資金残高	87,089,812
当期末支払資金残高	92,435,502

※) 医療事業収入分を除く。社会福祉法人新会計基準の勘定科目上、算出できないため。

※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

2. 法人単位の事業活動の状況

項目	金額（千円）
(1) サービス活動増減差額	
① サービス活動収益	369,641,405
② サービス活動費用	
減価償却費	11,318,350
国庫補助金等特別積立金取崩額	
その他サービス活動費用	361,667,894
(2) サービス活動外増減差額	
① サービス活動外収益	12,409,207
② サービス活動外費用	12,641,111
(3) 特別増減差額	
① 特別収益	5,000,000
② 特別費用	
当期活動増減差額	1,423,257
前期繰越活動増減差額	138,277,189
当期末繰越活動増減差額	139,700,446
基本金取崩額	
その他の積立金取崩額	
その他の積立金積立額	
次期繰越活動増減差額	139,700,446

※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

3. 法人単位の資産等の状況

項目	金額（千円）
(1) 資産の部	
① 流動資産	102,866,581
② 固定資産	104,195,218
(2) 負債の部	
① 流動負債	10,431,079
② 固定負債	33,707,467
(3) 純資産の部	10,000,000
減価償却累計額	51,782,446

※) 端数処理の関係で合計が一致しないこともあり得る。

4. 積立金の状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	本年度末時点の積立金額（千円）	積立計画の有無	積立目標額（千円）	施設整備の場合		
					整備事由	整備時期	整備対象施設名

5. 関連当事者との取引の内容

種類	法人等の名称	住所	資産総額（千円）	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
						役員等の兼務等	事業上の関係				

6. 地域の福祉ニーズへの対応状況

事業概要	実施の有無	事業開始年度	本年度支出額（千円）
1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免			
2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施			
3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施			
4 災害時における各種支援活動の実施	○	2011年度	約1000000
5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施			
6 他法人との連携による人材育成事業			
7 その他（ ）			

注) 本年度支出額については、当該事業に対する費用として、明確に算定出来る場合に限り記載しており、明確に算定出来ない場合は「-」を記載している。